

さがみはら 市史編さんだより 第14号

2003.9.1

市史座談会「相模原を語る」



市史編さん事業は、大勢の人々がかかわり、長い時間をかけて進める事業です。事業の進捗状況や調査研究の成果を、皆様にお知らせするため、市史本編とは別に「相模原市史ノート」というA5版120ページ程度の冊子を毎年発行する予定です。創刊号は、平成16年3月の発行を目指し、準備を進めています。

相模原市史ノート創刊号の特集記事として掲載するため、8月16日（土）午後、市史編さん室の会議室において、座談会「相模原を語る」を開催しました（写真）。座談会には、市史編集委員会委員のうち、石井篁氏（郷土史）、岩野秀俊氏（昆虫学）、小川直之氏（民俗学）、金原左門氏（日本近代史）、浜田弘明氏（人文地理学）の5氏に出席していただき、神崎彰利市史編さん室特別顧問（市史編集委員会委員長）に司会をお願いし、安立市史編さん室長も事務局の立場で参加しました。

2時間半に及んだ座談会では、出席の皆さんから、それぞれが持つ相模原のイメージや専門分野からみた相模原について、さらには相模原市史続編に向けての抱負・意見など、興味あるお話をいろいろ伺うことができました。詳細については相模原市史ノート創刊号をぜひご覧ください。（主幹 田所 哲男）

〇市史編さん審議会委員を委嘱

市史編さん審議会委員の2年間の任期満了に伴い、平成15年7月31日付で、改めて以下の10名の方々に委嘱しました。(五十音順・敬称略)

氏名	現職等	備考
岩橋 清美	小田原市文化財審議委員	
内川 隆志	國學院大學考古学資料館学芸員	
大塚 靖夫	相模原市文化財研究協議会理事	
長田 かな子	元相模原市史料調査専門員	
白井 宏尚	神奈川大学常務理事	
高木 大和	市民公募委員	
高橋 順一	桜美林大学国際学部教授	副会長
松崎 笙子	女子美術大学芸術学部教授	
山下 義幸	明治大学農学部教授	会長
涌田 久子	市民公募委員	

現代編探訪 2 畑地かんがい事業の碑



「広漠たる台地」という表現が示すように、かつての相模原は山林や原野が広がり、水を得るためには20～30メートルもの深い井戸を掘らなければならないほどの痩せた土地を抱える地域でした。市域の大規模な開墾は、江戸時代以降、断続的に続けられてきましたが、農業用水を主に雨水に頼る農業は、生産性が低い上、生産量も安定しないものでした。第二次世界大戦直後には、食糧増産という課題を受け、さらに開拓が進みましたが、それにともない、農業用水の確保についての抜本的な解決策として、畑地灌漑が検討されるようになりました。

「相模原開発畑地かんがい事業」は、相模湖を水源とする横浜市水道を虹吹(現相模原市陽光台)で分水し、相模原から藤沢に至る2700ヘクタールの畑地を灌漑するという、全国初の大規模なものであり、昭和23年に着工されました。昭和38年度に事業は完了しましたが、まもなく市内は急速な都市化の時代を迎え、畑地は工業用地や住宅地へと姿を変えてゆきます。

同時に畑地灌漑用水路もその使命を終えましたが、今でも市内の数カ所で遺構を見ることができます。「畑地かんがい事業の碑」は、用水路の出発点にあたる虹吹分水横に、用水路の平面図を刻んだ石碑とともに建立され、灌漑に懸けた先人たちの偉業を伝えます。(調査員 小田原 澪)



「畑地かんがい事業の碑」(相模原市陽光台7-9)
JR相模原駅南口から北里大学経由相模大野駅行き等のバスで「日光台6丁目」下車、徒歩5分

前市史編集室の写真から 12

今回は昭和39年に撮影した、麻溝地区の写真を紹介します。

現在の相模原麻溝公園・県立相模原公園付近にあたりますが、当時は遠方まで森が広がって



います。ここは戦前には旧日本陸軍士官学校(現在のキャンプ座間)の小銃射撃場のあった場所で、戦後は米軍により接收され、全面返還されたのは昭和44年のことです。

その後公園として整備され、平成4年には第9回全国都市緑化かながわフェアの会場になったのは記憶に新しいところです。



下の写真はそのイベントのときに建設された、グリーンタワー相模原の高さ38メートルにある展望室から見た昨年8月の様子です。中央に県内最大級の温室・かながわグリーンハウスや奥に横浜市水道局相模原沈殿地、右端には南清掃工場の煙突も見えます。(主任 方波見 淳)

◇ トピックス

「市史講演会」を開催します。

日時 : 9月20日(土)午後2時～3時30分 (開場は午後1時30分)

テーマ : 「明治・大正の地図からみる相模原」

講師 : 清水 靖夫さん(法政大学文学部講師・市史現代図録編執筆者)

会場 : 市立博物館地階大会議室(横浜線淵野辺駅下車徒歩20分)

定員 : 200名(当日先着順)

対象 : 15歳以上の人(中学生は除く)

受講料 : 無料

相模原市域の変ぼうを明治・大正の地図を中心に、伊能図や軍都計画にも触れながら読み取ります。



編さん室の動き (7月～8月)

月	日	内 容
7	1	市史編さんだより第13号発行
	2	現代図録編執筆者打合せ会議開催 現代図録編構成案等について、市長・両助役に説明
	8	上溝小学校・相模台小学校へ写真資料調査
	10	昭和女子大山本教授へ考古編(縄文期)の執筆依頼
	17	教育委員会主催写真作品取り扱い研修会に参加
	18	博物館写真室で資料写真撮影(19日にも実施)
	24	綾瀬市に考古資料調査 神奈川県歴史資料取扱い機関連絡協議会第1回研究会に参加
	25	現代図録編執筆者打合せ会議開催
8	5	現代図録編関連市内景観写真撮影(8日にも実施)
	6	文化庁主催著作権実務講習会を受講(8日まで) 市内発掘現場(磯部・田名向原)視察
	13	現代資料編打合せ会開催 現代図録編執筆者清水氏と市史講演会について打合せ
	14	相模大野駅周辺整備事務所へ写真資料調査 大田区立郷土博物館ほかへ50周年記念展参考調査
	15	沼津工業高専望月氏へ黒曜石産地同定依頼 青少年学習センターに写真資料調査
	16	市史座談会「相模原を語る」開催
	19	市史編さん審議会委員委嘱式及び平成15年度第1回会議開催
	20	県立歴史博物館へ考古資料返却
	22	横須賀市役所へアメリカ資料調査関係写真展視察

「さがみはら市史編さんだより」第14号

発 行 平成15年9月1日

編 集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19

T E L 042(750)8025 / F A X 042(750)8039

E - M A I L : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp